

白川わくわくランド ニュース

第14号

発行
 ●白川流域住民交流センター
 (白川わくわくランド)
 〒860-0854
 熊本市東千飼町8-55
 TEL・FAX(096)346-5454
 ホームページアドレス
<http://www.wakuwaku-land.com>
 メールアドレス
wakuwaku@wakuwaku-land.com

5年理科「流れる水のはたらき」の学習

楠小学校実践

近年インターネットなども発達して多様な情報の収集が可能になりました。いろいろな方法で必要な情報の収集を行い知識豊富な子どもたちが多くなってきたと思います。しかし、学習は、知識としての学習と体験(経験)的学習がバランス良く行われたときその効果も高まります。

特に理科学習などはそうではないでしょう。今回は、楠小学校5年生の理科の学習の実践を報告します。5年生は、9月に総合的な学習で、白川に入り水生生物等を調べる学習をしています。

9月には総合的な学習で白川に入り、水生生物の調査をしたり、水の流れを肌で感じたり、まわりの様子を観察したりしました。



指導計画

単元導入

流れる水には、どんなはたらきがあるのだろうか。

第1次

水の流れ方によって、地面のようすは、どのように変わるのだろうか。

第2次

実際の川の様子は、どうなっているのだろうか。



流水模型の水の流れ方と前を流れる白川の流れが同じになるね。模型の中に障害物を入れると水の流れがかわるんだ。



やはり授業で習ったように、白川も外側にブロックがあり、内側には、たくさんじゃりがあって草が生えているところもあるんだ。

第3次

流れる水のはたらきでおこる災害を防ぐために、どんなくふうがされているのだろうか。

まとめ

まとめと発展

白川わくわくランドに行って、すごいなあ、おもしろいなあと思ったことが6つほどあります。

1つ目は、習ったとおりに、白川も外側がけずれていて内側は石や砂がたくさんたまっていたことです。外側はけずれないように大きい石の護岸ブロックをたくさん置いてあったり、岸をコンクリートで固めてあったりしていたのに対し、内側は、けっこう大きな石がいっぱいたまっていて、それが川原になっていました。外側と内側の差が意外に大きいことにびっくりしたし、水の力はすごいなあと感じました。(中略)

3つ目は、こう水たいさくでいるんなことをやっているということです。遊水池やダムを整備をしたり、橋をかけかえたり、思ったよりやっておどろきました。(中略)

5つ目は、上流と中流・下流にはちがう点がたくさんあるということです。上流は冷たいし、浅いし、大きな石が多いし、川幅がせまいけど、中流や下流では……(後略)。

いろんな工夫をして川のはんらんをなくそうとした加藤清正についてももっともというんなことを知りたいなあと思いました。また、白川だけでなく他の川のことでもわくわくしらべてみようと思いました。



白川の橋 — ① 白川橋



歩道に設置されたユニークなオブジェが目を引く。

箱木市会場

熊本駅から東に延びる県道熊本停車場線に架かる。左岸本山町、右岸二本木町を結ぶ。現在の橋は昭和34年に完成し、橋長148.7m、総幅20.6m。

左岸の河川敷では毎年箱木市が開催される。伝統あるこの市は、本年も2月1日から3月10日まで開催され、種々の樹木や色とりどりの春の花が来場者の目を楽しませた。

白川わくわくランド 寺子屋 冬の白川バードウォッチング

子飼橋付近で26種の鳥を確認! 環境を考えることも

平成16年2月21日(土)に、子飼橋付近で冬の白川バードウォッチングを行いました。参加者26名は、7才の子どもから70才代の方まで様々。友達、親子連れ、夫婦等々多様でした。この日は真っ青に晴れた暖かい一日でした。参加者は和やかな中にも喜々として双眼鏡を手にしたり、望遠鏡をのぞいたり、自分の目で確認したり…。

講師は、日本野鳥の会熊本県支部事務局長で熊本市立清水中学校の田中忠先生、麻生田小学校の宮崎謙二先生、池田美子先生、西山中学校の前田弥生先生。

バードウォッチングの基本から、わかりやすく、丁寧に教えていただき、参加者は大満足。

単なる鳥の確認に留まらず、生態系のこと、環境のことについても話していただき、環境学習にもなりました。



バードウォッチングのやくそく

- ①鳥をおどかさない。
- ②草・木・虫をとらない。
- ③リーダーの指示をまもる。
- ④ごみは持って帰る。



確認した鳥の発表

確認した鳥たち

カモたち



緑色の頭と白の首飾りがきれいなマガモ。



堤防の芝をついばむヒドリガモ

カモは夜行性で、夕方になるとエサを求めて川、海、湿地などのエサ場へ出かけます。朝になると、危険の少ない川や池などに帰ってきて、昼間は主に昼寝をしています。

夜行性のカモが昼間も食するのは北へ帰るための栄養補給のためなんですよ。

カモ ミニ知識

- 秋** 暖かい冬を日本で過ごすために北国から渡ってくる。
- 冬** オスは美しい繁殖羽にかわり、結婚の相手をさがす。
- 春** 冬に結婚したカモたちが、夫婦で北国へ帰る。
- 夏** 地味な夏羽にはえかわり、子育てをする。



オマガモ



マガモ



アオサギ



コサギ



カイツブリ

いったん水中に潜ると10秒ほどは出てこない。次に出てくる時は、数メートル離れた場所に、水を蹴るように泳ぐ。



ヒヨドリ



ハクセキレイ



ヨチヨチイ

白鷺として知られるサギ類の中では最も小さいサギ。くちばしは黒く、足指は黄色。鳴き声は、グワーとカゲーなどと聞こえる。



シギ

川岸の民家に咲くキツブシバキやウメの花の蜜を一生懸命吸っていた。水泳のバタフライのように波形に飛ぶ。

写真提供
国土交通省 緑川上流出張所
今橋 一博 氏

その他確認した鳥たち

- ツバメ(越冬ツバメかも?)
- チョウゲンボウ
- ハシブトガラス
- ハシボソガラス
- カシラダカ
- ムクドリ
- スズメ
- アオジ
- カワラバト
- モズ
- ホオジロ
- イカルチドリ
- キジバト
- コゲラ
- ジョウビタキ

4月

4月17日(土)
春の星座観察会
 年令制限なし
 募集 30名

5月

5月15日(土)
**白川河口有明海
 の干潟観察**
 小学4年以上
 募集 15名

7月

7月22日(木)
**わくわくお天気
 教室**
 小学生以上
 募集 30名

4月24日(土)
**立野ダムと白川
 中流域見学ツアー**
 中学生以上
 募集 30名

5月末
**大井手ホテル
 鑑賞会**
 小学生以上
 募集 20名

7月23日(金)
夏の星座観察会
 年令制限なし
 募集 30名

平成16年 白川わくわくランド寺子屋

8月

8月5日(木)
阿蘇谷源流探検
 小学4年以上
 中学生以下
 募集 15名

10月

10月22日(金)
秋の星座観察会
 年令制限なし
 募集 30名

12月

12月4日(土)
**白川ハイキング
 &
 ストーンパインティング**
 小学生以上
 募集 20名

9月

9月11日(土)
白川の生き物たち
 小学生以上
 募集 20名

11月

11月6日(土)
**湧水の地
 一の宮散策**
 中学生以上
 募集 30名

※ くわしくは
 白川わくわくランド
 までお問い合わせせ
 ください。
 TEL.096-346-5454